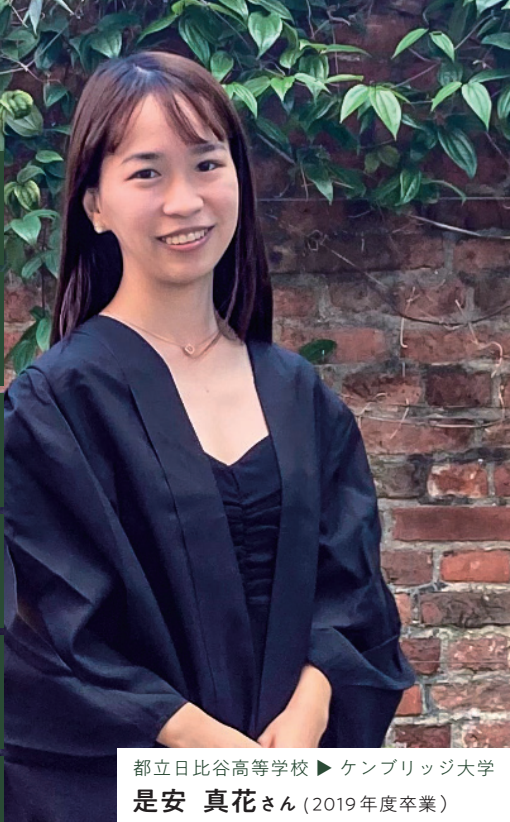
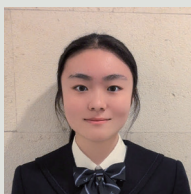




都立日比谷高等学校 ▶ ケンブリッジ大学
是安 真花さん (2019年度卒業)

世界へ踏み出す力をくれた3年間

私は高校2年生の夏から単身でイギリスへ留学し、現在は英国のケンブリッジ大学で自然科学を学んでいます。帰国子女ではない私が海外へ挑戦しようと思ったのは、中学校で経験した「英語を使う授業」があったからです。特に印象に残っているのは、英語でニュースを聞き、内容を推測する授業です。最初は全く聞き取れませんでした。少しずつ理解できるようになることが楽しく、自分の成長を実感しました。また、中学校では「自分の考えを伝える力」も身につきました。スピーチコンテストや特別進学学習では、自分の意見を分かりやすく論理的に伝える力が求められました。中でも、「自分の腎臓を売ってもよいか」という答えのないテーマについて討論した授業は強く印象に残っています。友人たちの論理的な意見に刺激を受け、自分自身も深く考える力を養うことができました。現在、大学では多くのエッセイ課題がありますが、中学校で学んだ論理的な考え方が大きな支えになっています。そして、私を最も成長させてくれたのはダンス部での経験です。努力を続ける力、仲間を信じる力、粘り強く挑戦する姿勢は、今の自分の自信につながっています。留学生活では苦労も多くありますが、中学校時代の経験が、困難に向き合う力を与えてくれています。これからも多くの人と関わりながら学びを深め、誰かの力になれる人でありたいと思っています。

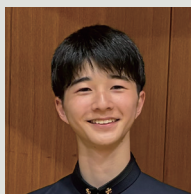


明治大学付属
明治高等学校

杉山 美織さん

私は、一人で勉強している時はなかなか集中が続かず、テスト前になってやる気が起きないことがよくありました。しかし特進のおかげで、私の勉強への姿勢は大きく変わりました。3年生になり特進が始まると、全国の様々な学校の過去問を解き、点数が悪くて落ち込むことも多くありましたが、友人と問題を解き直したり教え合ったりする時間は、今でも楽しい思い出として残っています。また、普段の授業よりも生徒同士の意見交換の時間が増え、自分と相手の解法の違いに驚いたり、そこから新たな発見をしたりすることで、自分の問題へのアプローチの仕方に良い影響がありました。私は特進を通して、自分一人で黙々と問題を解くだけでなく、他人と対話しながら勉強することの楽しさに気づくことができました。難しく挫折しそうな時も、仲間と共に乗り越えられる特進は、とても有意義な時間になりました。

仲間と切磋琢磨した特進



都立国立高等学校

堤 光太郎さん

私はこの中学校での3年間で、特に行事を通して成長できたと感じています。中でも、私が最も好きだったのは球技大会です。1、2年生の時は、打倒先輩で学年全体が一丸となって戦います。また、3年生になるとクラスで団結し、総合優勝を目指します。学年やクラスの中で絆を深めるいい機会になり、何よりとても楽しかったです。そして私はスポーツ大会でチームリーダーを務めました。スポーツ大会では、クラスや学年の垣根を越えて一つのチームとなって優勝を目指します。そのため、チームリーダーとして活動する上で、全員をまとめていくのは非常に大変でした。しかし、仲間たちと協力し、他学年との交流も深めながら優勝を目指したことは、とても良い思い出になりました。この中学校には他にもたくさんの行事があります。一つひとつに全力を尽くし、積極的に参加していくことで大きく成長できました。行事を通して得たものは、今後の人生にも残り続けていくと思います。

行事で掴んだ成長と絆

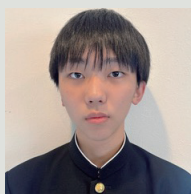


都立戸山高等学校

末永 光さん

私は吉祥寺学園中部で過ごした3年間でたくさんのことを学びました。特に1、2年生の時に取り組んだ探究科での経験は、今の自分の糧となっています。探究科は、調べた内容を書き写すだけの学習とは大きく異なり、自ら立てた問いに、答えにつながる要素を関連づける行為の連続です。私は、難病の母がヘルプマークを着用したくないと話していたことをきっかけに、だれもが使いやすいヘルプマークについて探究しました。探究していく過程で、多くの壁に直面しましたが、その過程にこそ、探究学習の本当の価値があったのだと気づきました。また、全国学芸サイエンスコンクール入選をいただいたことで、大人にも認められるような探究ができたのだという自信につながりました。探究科で大きく成長した、問いを立てて考える力は、これからも私を支えてくれることでしょう。この力を活かして、これから先の学校生活や就職にも活かしていきたいです。

問いから始まる探究科の学び



慶應義塾高等学校

穀野 琉聖さん

吉祥寺学園中部での3年間、私は生徒会長として活動してきました。生徒会では、生徒一人ひとりの声に耳を傾けながら、学校生活をより良くするために何が出来るかを仲間と考え、形にしてきました。行事の運営や日々の課題に向き合う中では、意見がぶつかり、悩むことも少なくありませんでした。それでも、話し合いを重ねる中で新しい考えに気づかされたり、よりよい答えにたどり着けたりした経験は、今でも強く心に残っています。また、多くの人に支えられていることを実感し、協力することの大切さや責任の重さも学びました。これから入学される皆さんも、自分の考えを大切にしながら仲間と関わり、さまざまなことに積極的に挑戦してみてください。この3年間で、きっとかけがえのないものになると思います。皆さんのこれからの学校生活が実り多いものとなることを心から願っています。

対話が育む生徒会活動